

各参加団体 演奏・演舞・指定場所 位置図



駐車場のご案内

- P1: ビバハウスいしどりや
- P2: 旧宝峰跡地
- P3: 石鳥谷中央通り商店街駐車場
- P4: 石鳥谷総合支所 (10日のみ)

①本部 (小さな百貨店ぶらっと前)

- 12:55~ 実行委員会会長・名誉会長挨拶
- 13:10~ 山車・神輿パレード …… 善隣館・八幡保育園
- 13:20~ さんさ踊りパレード …… 新堀保育園
- 13:30~ 鼓笛隊パレード …… 八重畑小学校
- 13:45~ 鹿踊り演舞 …… 石鳥谷保育園
- 14:00~ ダンス演舞 …… 八幡小学校
- 14:15~ 吹奏楽演奏 …… 石鳥谷中学校
- 14:35~ 山車移動
- 15:20~ 民俗芸能演舞 …… 五大堂神楽
- 15:40~ ふるさとさんさパレード …… ふるさとさんさ会
- 16:00~ 手踊りパレード …… 女性団体他
- 16:40~ 神輿パレード
- 17:30~ 山車パレード出発式
- 17:45~ 山車パレード
- 20:50 山車・神輿自由運行終了

②出店・お休み処

W.C. まちの駅いしどりや 酒蔵交流館前

③酒蔵交流館前

- 13:10~ 山車・神輿パレード …… 善隣館・八幡保育園
- 13:20~ さんさ踊りパレード …… 新堀保育園
- 13:30~ 鼓笛隊パレード …… 八重畑小学校
- 13:45~ 田植え踊り演舞 …… 八重畑保育園
- 14:00~ 神楽演舞 …… 新堀小学校
- 14:15~ 吹奏楽演奏 …… 石鳥谷小学校
- 14:35~ 山車移動
- 15:20~ 民俗芸能演舞 …… 春日流八幡鹿踊
- 15:40~ ふるさとさんさパレード …… ふるさとさんさ会
- 16:00~ 手踊りパレード …… 女性団体他
- 16:40~ 神輿パレード
- 17:45~ 山車パレード
- 20:50 山車・神輿自由運行終了

観覧規制のご案内

今年の石鳥谷まつりは、4年ぶりの通常開催となり、車両通行止めの交通規制やお休み処の開設、露店屋台の設置もあります。以下の観覧規制にご協力頂き、石鳥谷まつりをお楽しみください。

- ご観覧の際には、こまめな水分補給等の熱中症対策や新型コロナウイルス感染症対策の実施を忘れずにお願いいたします。
- 発熱等体調がすぐれない場合は、ご観覧をご遠慮ください。
- お休み処 (まちの駅いしどりや酒蔵交流館駐車場) やおまつり広場 (文化タクシー～駅口交差点) にゴミ箱はありません。ゴミは各自でお持ち帰りください。
- ご観覧しながらの飲食はご遠慮ください。
- 小型無人機 (ドローンなど) の使用は、全面禁止といたします。

交通規制と駐車場のご案内



車両通行止
9月10日(日)
12:50~21:00
 (文化タクシー前～駅口交差点)
 ※雨天の場合でも車両通行止めとなります。

- お願い
- 交通規制中、路線バスは石鳥谷バイパスを通行します。
 - 混雑が予想されますので、車はできるだけ「迂回路」をご利用ください。
 - 車をご利用の方は、混雑緩和のため「自動車乗り入れ自粛区域」へ乗り入れないようご協力願います。
 - 案内図のほか、交通事情により、臨時規制が行われることがありますので、警察官、係員の指示に従ってください。

協賛社ご芳名 (順不同・敬称略) 令和5年8月4日現在

- (社医)啓愛会 宝陽病院 (資)川村酒造店
 岩手日報石鳥谷センター(株)平藤 岩手標識(株) (株)佐賀建設
 (株)芳賀火工 花巻農業協同組合
 (株)東華商会 (株)花巻事務機 丸大食品(株)岩手工場
 (株)盛岡南ゴルフ倶楽部

- 秋柴重機(株) アツデン(株)岩手工場 (株)アトム物産 (株)イトサービスイオ保険 (株)石鳥谷観光物産
 石鳥谷CAT いしどりや熊野神社 いしどりや整骨院 石鳥谷中央通り商店街振興会 伊藤明子
 (株)伊藤組 (株)岩手銀行石鳥谷支店 (株)岩手県公共建設土地家屋調査士協 岩手日日新聞社 (株)N・S・A・S
 えふえむ花巻 (株)オйкаワ製作所 (有)菓匠丸文 活版ディーアイ(株) 金子整形外科医院
 (有)神山工業 (株)キクコースタ石鳥谷店 菊忠印刷(株) (株)北日本銀行石鳥谷支店 協栄テックス(株)
 共和熱処理(株)岩手工場 銀河フーズ(株) サテライト石鳥谷 (株)鋼商 (株)坂田管機材
 さとう消化器科内科クリニック (有)サトウ製作所 (株)サンデーホームマート石鳥谷店 三和設備工業(株) (社)福光林会
 ショートステイよろこび 世紀東急工業(株)岩手営業所 関庄糧穀(株) タイヨー(株) 高田工業(株)
 (株)中央コーポレーション (株)TSD 東北資材工業(株) (株)長澤工務店 (有)中村測量設計事務所
 日興電気(株) (有)島山造園土木 島山木材産業(株) 前田道路(株)東北支店 R5北上管内舗装補修工事 花巻ケーブルテレビ 花巻信用金庫石鳥谷支店
 (株)英 (株)富士電業社 (有)丸石産業
 (株)みちのくクボタ (株)理水興業 (有)立正佼成会花巻教会

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第42回 南部杜氏の里
石鳥谷まつり
9月8日(金)~10日(日)

石鳥谷地域住民総参加のまつりとして昭和55年から開催して参りました「石鳥谷まつり」は、令和元年に第40回目を迎えました。令和2・3年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を余儀なくされましたが、去年は規模縮小ながら3年ぶりに「第41回石鳥谷まつり」として開催いたしました。

第42回目となる今年は4年ぶりの通常開催となり、南部流の山車、神輿、民俗芸能、保育園児・小中学生による芸能や音楽演奏など参加団体の皆様のご協力の下、より賑やかに開催いたします。出る人、見る人、みんなが一緒になって楽しいまつりのひとときを過ごして頂きたいと存じます。

石鳥谷まつり行事案内 (お祭り広場 文化タクシー前～駅口交差点)

9月7日(木) 前夜祭・安全祈願祭 …… 17:00~(熊野神社)
 9月8日(金) 山車自由運行 …… 19:00~21:00
 熊野神社神輿渡御 …… 13:00 (熊野神社出発)
 山車・神輿自由運行 …… 13:00~21:00
 9月9日(土) 山車・神輿自由運行 …… 13:00~21:00
 10日(日) 石鳥谷まつりパレード
 ●実行委員会会長・名誉会長挨拶 …… 12:55~(本部前)
 ●善隣館保育園・八幡保育園 …… 13:10~ 山車・神輿パレード
 ●新堀保育園さんさ踊りパレード …… 13:20~
 ●八重畑小学校鼓笛隊パレード …… 13:30~
 ●石鳥谷保育園鹿踊り・八重畑保育園田植え踊り… 13:45~
 ●八幡小学校ダンス・ …… 14:00~ 新堀小学校くずし舞・神楽
 ●石鳥谷中学校・石鳥谷小学校吹奏楽 …… 14:15~
 ●山車移動 …… 14:35~
 ●五大堂神楽・春日流八幡鹿踊 …… 15:20~
 ●ふるさとさんさパレード …… 15:40~
 ●手踊りパレード …… 16:00~
 ●神輿パレード …… 16:40~
 ●山車パレード出発式 …… 17:30~
 ●山車パレード …… 17:45~
 ●山車・神輿自由運行 …… 20:50 終了

出店・お休み処

日時: 9月8日(金)~10日(日)
 12:00 ~ 21:00
 場所: まちの駅いしどりや 酒蔵交流館駐車場

石鳥谷まつり パネル展

日時: 9月8日(金)~10日(日)
 12:00~21:00
 場所: まちの駅いしどりや 酒蔵交流館

主催: 石鳥谷まつり実行委員会
 花巻市・花巻商工会議所石鳥谷支所・(一社)花巻観光協会 石鳥谷町芸術文化協会・石鳥谷町女性団体連絡協議会 花巻市防犯協会石鳥谷支部・花巻農業協同組合

現地本部: 小さな百貨店ぶらっと前
 本部臨時電話: 0198-45-5128 (8日~10日のみ)
 お問い合わせ: 花巻商工会議所石鳥谷支所 ☎45-4488

石鳥谷まつりパレード参加団体

(敬称略)

●地域内保育園

(5団体)

参加団体名	出演内容等
1 石鳥谷善隣館保育園	山車・みこし 駅口までパレード
2 八幡保育園	山車・みこし 駅口までパレード
3 新堀保育園	さんさ太鼓・さんさ踊り 駅口までパレード
4 石鳥谷保育園	鹿踊り「綱渡り」 本部前で演舞
5 八重畑保育園	田植え踊り 酒蔵交流館前で演舞

●地域内小・中学校

(5団体)

参加団体名	出演内容	指定演奏場所
1 八重畑小学校	(鼓笛隊)「校歌」、「聖者の行進」	薬師堂橋までパレード
2 石鳥谷小学校	(吹奏楽)「聖者の行進」ほか	酒蔵交流館前
3 八幡小学校	(ダンス)「ミックス ナッツ」	本部前
4 新堀小学校	(千刈田神楽)くずし舞、神楽	酒蔵交流館前
5 石鳥谷中学校	(吹奏楽)「可愛くてごめん」、「アイドル」ほか	本部前

●神楽・鹿踊り・さんさ踊り

(3団体)

参加団体名	指定演奏場所
1 五大堂神楽	本部前
2 春日流八幡鹿踊保存会	酒蔵交流館前
3 ふるさとさんさ会	駅口までパレード

●神輿

(3団体)

順番	参加団体名
1	ルンビニー若連
2	石鳥谷独心会
3	江戸神輿愛好会鵬睦

●手踊りパレード

(曲目)
「新しいどりや音頭」
「石鳥谷うかれ音頭」

(パレード区間)
本部前～薬師堂橋

●南部流山車

(5団体)

順番	参加団体名	風流名	見返し
1	上若連	毛剃九右衛門	鷺娘
2	上和町組	義経弓流し	花魁道中
3	西組	和藤内「紅流しの場」	りんご娘
4	下組	羅生門	戻り橋
5	中組	矢の根	和田舞鶴

南部流山車5団体紹介

上若連



○風流名

毛剃九右衛門(けぞりくえもん)

○見返し

鷺娘(さぎむすめ)

○説明

江戸中期、近松門左衛門により著された浄瑠璃「博多小女郎波枕(はかたこじょうらうなみまくら)」より。歌舞伎では「毛剃」の通称で知られています。登場人物のひとり毛剃九右衛門は博多へ下る便船の船主だが、実は海賊の首領。京商人の小町屋惣七(こまちやそうしち)は下関からこの船に乗りますが、密輸の現場を見てしまい海中に投げ込まれます。運よく助かり逃げ延びた惣七は、博多の遊郭「池田屋」へ恋仲の遊女小女郎を訪ねますが、大儲けした毛剃一味も繰り込みます。無事だった惣七を見た九右衛門は、その運の強さを見込んで仲間に入れようしますが…。毛剃九右衛門の手下となった惣七と小女郎の最後は儚い情話し。風流は異国情緒な海賊毛剃が大マサカリを振り落として綱を切り、荒れ狂う西海の先を見据え船出する勇壮な場面です。見返しは鷺娘。歌舞伎舞踊の古典名作で、冬景色の水辺にたたずむ鶯の情が娘に姿を変じ、恋に思い悩む女性とその苦しむ姿、そして喜びを描いた作品です。

上和町組



○風流名

義経弓流し(よしつねゆみながし)

○見返し

花魁道中(おいらんどうちゅう)

○説明

平氏軍が本拠地としていた讃岐の国、屋島へ源義経ら源氏軍が攻め入り、屋島の戦いが起きると平氏軍は海上へ追い込まれましたが、源氏軍が意外に少数であることを知ると戦上から激しい矢戦を仕掛け、義経は自らの弓を誤って海に流してしまいます。義経は部下たちが止めるのを聞かず、敵兵の行き交う沖まで行き、弓を捨てました。戻った義経は「もっと強い弓ならいざ知らず、源氏の大将がこのような弱い弓を使っていることを平氏に知られては、末代までの恥となる。そのため命を顧みず拾いに行ったのだ。」と語り、部下たちは感銘を受けます。義経の弓流しは、源平合戦の中で有名な逸話の一つです。見返しは花魁道中。江戸吉原で花魁が禿や振袖新造を従えて遊女屋と揚屋、引手茶屋を練り歩き往復した姿を旅に見立てて、花魁道中と呼ばれます。豪華な打掛けを重ね着し、黒塗りの三枚歯の高下駄を履き、独特の足運び「外八字」で歩きます。八の字型を描くようにしゃなりしゃなりと優雅に歩く花魁の姿に女性の本来の美しさや、したたかさが表現され、道行く人々を魅了します。

西組



○風流名

和藤内「紅流しの場」(わとうない「べにながしのぼ」)

○見返し

りんご娘(りんごむすめ)

○説明

和藤内「紅流し」は、明朝の復活のため、韃靼(だたん)の武将甘輝(かんき)に協力を求めるために、甘輝の妻となっていた腹違いの姉錦祥女(きんしょうじょ)に会いに行く話である。和藤内は甘輝の館である獅子ヶ城(しがじょう)へ行くが、城の警護のものは対面を許さなかった。錦祥女は楼門(ろうもん)に登り和藤内たちと対面を果たす。錦祥女は、城から流れ出る川を使って甘輝が味方になるなら白粉を、そうでなければ紅の粉を流すことで合図とすることにした。甘輝は、「いったん韃靼の王に忠誠を誓った者が、妻の縁で味方になっては義理が立たない。味方になるのなら、錦祥女を殺してからだ。」と答えるが妻を殺せない。獅子ヶ城から流れてきた紅の粉を見て怒った和藤内は甘輝の城へ向かうが、紅の粉と思ったものは錦祥女が自害して流した血であった。妻の自害は「妻の縁での裏切り」という甘輝の汚名をそそぎ、なおかつ、甘輝が韃靼王を妻の敵として討つ大義となる。尊い犠牲により甘輝は韃靼王征伐を決心し、和藤内の味方となった。その一場面を再現しております。

下組



○風流名

羅生門(らしょうもん)

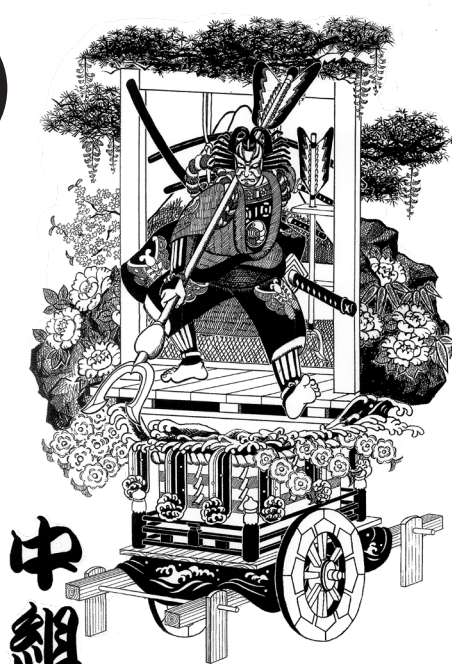
○見返し

戻り橋(もどりばし)

○説明

「羅生門」は平安時代、京の都の朱雀大路(すじくおおい)の入り口にある羅生門に鬼が現れ人々を苦しめているため、勇猛な武将として知られる「渡辺綱」(わたなべのつな)が戦いを挑み、見事に鬼を退治するという物語です。渡辺綱は、源頼光(みなもとのよりみつ)の四天王の一人で、数々の伝説を残した実在の武将です。渡辺綱は鬼から人々を守るため、頼光の命により立ち入り禁止の札を立てて馬にまたがり羅生門に向かいますが、羅生門に着くや突然、空が掻き曇りどこからともなく荒々しい鬼が現れて渡辺綱の兜(かぶと)を掴み、兜ごと綱の首をねじ切ろうとします。綱は恐れることなく、先祖伝来の大刀を抜き格闘のすえ鬼の右腕を切り落とします。鬼は切り落とされた腕をその場に残し、黒雲の彼方へ消えて行きます。風流「羅生門」は、門の前に突然現れた鬼に渡辺綱が戦いを挑むところを表現しております。見返しは、同じく渡辺綱の鬼退治で知られる「戻り橋」です。

中組



○風流名

矢の根(やのね)

○見返し

和田舞鶴(わだまいづる)

○説明

鎌倉時代の曾我十郎(そがのじゅうろう)、五郎兄弟による敵討ちは、「曾我物語」によって一般にも広く知られていました。「矢の根」は弟の五郎を主人公とした作品。五郎は家で大きな矢の根を研いでいます。父の敵、工藤祐経(くどうすけつね)を討つ準備のためです。そのうち五郎が寝てしまうと、夢の中に兄の十郎が現れます。十郎は、「今、工藤の館に捕まっているから助けに来てくれ」と言い残して消えてしまいます。五郎は跳ね起き、通りがかった馬子から奪った馬に乗って、十郎を救いに駆け出します。見返しは和田舞鶴。和田義盛一族が北条方に攻められたとき、和田義盛の三男朝比奈三郎義秀という怪力の豪傑がひとりて城門を破ったという俗説があり、それを同時代の女丈夫、板額(はんがく)にかえた作である。